



第3節

教 育

1 子ども教育の充実

(1) 子どもの健全育成

(2) 教育環境の充実

(3) 学校教育体制の強化

2 生涯学習・スポーツの振興

(1) 生涯学習の推進

(2) スポーツの振興

(3) 国際交流の推進

3 人権尊重・男女共同参画の推進

(1) 人権尊重の推進

(2) 男女共同参画の推進

1 子ども教育の充実

(1) 子どもの健全育成

現状と課題

① 核家族化の進展と地域連帯感の希薄化

少子化や核家族化、地域の連帯感の希薄化等により、子どもたちが地域の中で様々な人とふれあう機会が減少しており、家庭や地域の教育機能の低下と、子どもたちの社会性や協調性の低下が懸念されています。次代を担う子どもたちが、健やかに育つ環境の整備を進めていくには、家庭・地域・学校が連携し、地域社会が総がかりで子どもの健全育成を図っていく必要があります。



自然体験（キャンプ）

② 子どもの規範意識や道徳心の低下

全国的な傾向として、児童生徒の規範意識の低下や人間関係づくりの不得意な児童生徒が目立ち始めています。規範意識や道徳心の向上を図るため、他人を思いやり、認め合う豊かな人間性や感性を育む教育活動を推進していくことが求められています。

③ 子どもの体力・運動能力の低下と生活習慣の変化

運動をする子どもとしない子どもの二極化が進むとともに、全体として、子どもの体力は年々低下する傾向にあります。また、「朝食を食べない」、「睡眠時間が短い」という子どもが増えており、生活習慣や食生活の変化は子ども達に大きな影響を与え、肥満傾向の増加や生活習慣病の低年齢化などを招いています。このため、子ども達の体力・運動能力の向上や生活習慣の見直し、食生活の改善を図る必要があります。

児童生徒の生活実態

○小学生アンケート結果

・朝ごはんを食べていない	10%
・10時までに寝ない	37%
・家族と会話をあまりしていない	13%
・家族のお手伝いをしていない	22%
・きまりを守っていない	25%

○中学生アンケート結果

・朝食を1人で食べている	29%
・親に悩み事を相談する	40%
・家で毎日手伝いをする	17%
・親からほめられたことがない	11%
・将来の夢や目標がない	32%

（資料：七尾っ子プロジェクト生活調査 平成19年度）



ラジオ体操



施策の方針

① 家庭・地域・学校が一体となった子どもの教育の推進

子どもの教育の原点である家庭教育の充実に努めるとともに、家庭・地域・学校が連携し、地域ぐるみで子どもの教育を支援することができる体制の整備を図ります。

施策の内容	主な取り組み
◎ 家庭・地域・学校の連携強化	地域教育力向上委員会の設置
◎ 家庭教育の充実	伸ばせ！七尾っ子プロジェクトによる教育支援 家庭教育講座の開催
◎ 地域教育の充実	放課後における子ども達の居場所の整備

② 豊かな心の教育の推進

地域の自然、歴史、文化、産業といった教育資源を活かした体験学習等を通じて、ふるさとを愛し、ふるさに誇りを持つ、心豊かでたくましい子どもを育成します。また、青少年リーダーや青少年団体を育成するとともに、青少年の自主的な活動を支援していく体制の確立に努めます。

施策の内容	主な取り組み
◎ ふるさと教育の推進	郷土学習・自然体験学習の実施 少年科学館の活用
◎ キャリア教育 ^{*1} の推進	職場見学・職業体験の実施
◎ 家庭・地域・学校における徳育の推進	道徳教育の推進 ボランティア活動の推進
◎ 青少年の健全育成活動の推進	青少年リーダーの育成 青少年団体の育成 市民主体の特色ある成人式の開催

③ 子どもの体力・健康づくりの推進

子どもの運動能力の向上や運動習慣の形成を図るとともに、生活習慣の改善に向けた取り組みを強化し、子どもの規則正しい生活習慣づくりに努めます。

施策の内容	主な取り組み
◎ 体力づくりの推進	体力アップ1校1プランの実施 各種体育大会の開催
◎ 健康づくりの推進	生活習慣の指導・改善 思春期における保健教育の推進

主な目標値

指標名	指標の説明	現状値	平成25年度	平成30年度
学校の決まりを守っていないという小学生の割合	児童の規範意識を示す指標	25.0% (平成19年度)	18.0%	10.0%
将来の夢や目標がないという中学生の割合	子どもの目標意識を示す指標	32.0% (平成19年度)	21.0%	10.0%

^{*1}キャリア教育：望ましい職業観・勤労観及び職業に関する知識や技能を身に付けさせるとともに、自己の個性を理解し、主体的に進路を選択する能力・態度を育てる教育。

1 子ども教育の充実

(2) 教育環境の充実

現状と課題

① 児童生徒の減少と学校の小規模化

少子化、過疎化を背景に、児童生徒が減少し、学校の小規模化が進んでいます。このため、教育条件に地域格差が生じており、教育集団としての学校規模の適正化を図る必要があります。また、児童生徒の「生きる力」を総合的に育むため、高度情報化社会や児童生徒の多様な学習ニーズに対応できる教育環境づくりが不可欠となっています。

一方、市内には13校の小学校及び9校の中学校があり、そのうち、建設後25年以上経過している施設が多くなっていることから、児童生徒が安全に安心して学習できる環境を整える必要があります。



小学校校舎

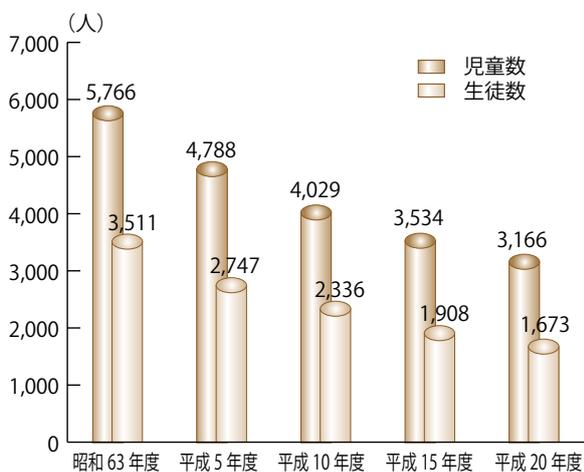
② 児童生徒の置かれている環境の多様化

住んでいる場所や保護者の経済状況、児童生徒の心身の成長過程など、児童生徒の置かれている状況は様々です。義務教育の課程では、これらの児童生徒一人ひとりの状況にかかわらず、全ての児童生徒が同じ水準の教育を受けることができる環境でなければなりません。

③ 児童生徒を取り巻く犯罪やいじめ・不登校の増加

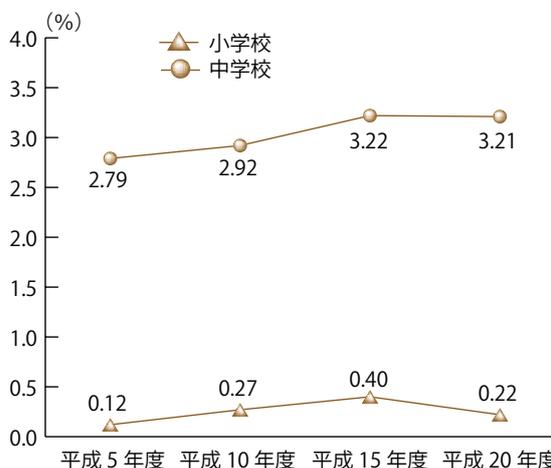
学校への不審者の侵入や登下校時における犯罪が全国的に問題となっており、児童生徒の安全の確保が重要な課題となっています。また、青少年の非行の低年齢化や凶悪化、いじめや不登校の増加など、児童生徒を取り巻く様々な社会問題が増えていることから、いじめや不登校の未然防止と児童生徒に対する生活指導の徹底を図る必要があります。

児童生徒数



(資料：七尾市子ども教育課)

不登校生徒の割合



(資料：七尾市子ども教育課)



施策の方針

① 学校規模の適正化と教育環境の整備

児童生徒が安全に安心して学習できる環境の整備を進めるとともに、効果的な教育活動を推進するため、学校施設の適正化に努めます。また、高度情報化等の時代に応じた教育環境づくりを進めます。

施策の内容	主な取り組み
学校規模の適正化と学校施設の整備	老朽校舎の改修・改築 学校の適正規模・適正配置の推進
情報化に対応した教育環境の整備	インターネットを活用した学校間の連携
学校図書館における図書教育の推進	図書館司書の配置 学校図書の充実
安心・安全な学校給食の提供	給食センター共同調理化 衛生管理マニュアルに基づく調理

② 就学機会の公平性の確保

児童生徒の就学機会や学習条件の均衡・公平性の確保を図ります。また、児童生徒一人ひとりの置かれている状況に応じて必要な支援を行います。

施策の内容	主な取り組み
特別支援教育 ^{*1} の推進	特別支援教育支援員の配置
遠距離通学児童生徒への支援	定期券購入の助成 スクールバスの運行
経済的支援の充実	就学費、給食費の支援
幼児教育の充実	私立幼稚園の運営支援

③ 児童生徒の安全対策といじめや不登校対策の推進

防犯・防災・避難に関する訓練等を組織的に取り組み、安全対応能力の向上を図ります。また、児童生徒が安心して学校に通えるように、学校・家庭・地域が一体となって、いじめ・不登校防止対策の推進や相談体制の充実を図ります。

施策の内容	主な取り組み
学校の安全対策の充実	防犯・防災・避難訓練の実施 危機管理マニュアルの作成
通学路の安全確保	通学路安全点検の実施 通学路安全マップの作成 警察・地域防犯組織等との連携強化
相談体制の充実	心の教室相談員の配置
いじめ・不登校対策の推進	いじめ・不登校防止対策研修の実施 教育研究所の活用

主な目標値

指標名	指標の説明	現状値	平成25年度	平成30年度
中学校における不登校生徒の割合	不登校生徒への取り組み状況を示す指標	3.22% (平成19年度)	2.00%	1.00%

^{*1}特別支援教育：障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加に向けて、適切な指導や必要な支援を行う教育。

1 子ども教育の充実

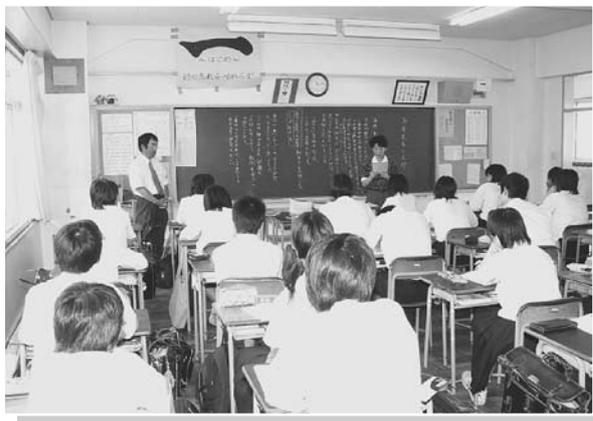
(3) 学校教育体制の強化

現状と課題

① 基礎学力の向上とグローバル化への対応

国際学力調査によると、日本の小中学生の学力の低下が懸念される結果となっています。七尾市においても学力調査の結果から、発達段階に応じた学力を定着させていくことが重要な課題となっています。

また、グローバル化の一層の進展により、教養と文化を身に付けるとともに、確かな外国語能力を持った国際性豊かな人材を育成することが求められています。



中学校の授業風景

② 教職員の資質向上

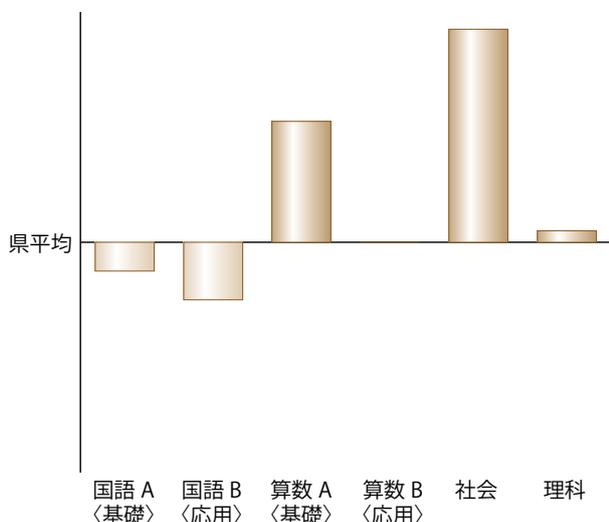
七尾市では、児童生徒の学力向上を図るために、教職員研修など教職員の資質向上に向けた取り組みを行うとともに、少人数指導、習熟度別指導等の指導方法の工夫改善を図っています。

児童生徒が確かな学力を身につけていくためには、教職員一人ひとりの資質向上と学校長のリーダーシップに基づく組織力の強化が不可欠であり、児童生徒に効果的な指導を行う体制づくりが必要となっています。

③ 保護者や地域住民に信頼される学校づくり

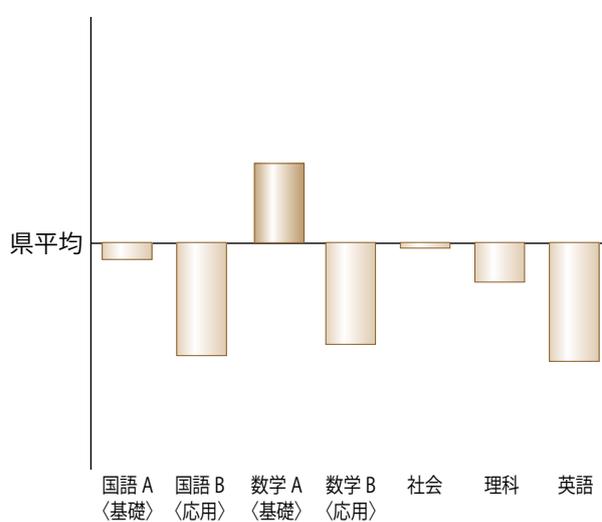
児童生徒の規範意識や道徳心の低下、いじめ、不登校などの様々な課題を解決していくためには、保護者や地域住民の力を学校教育に生かすことが重要です。そのためには、学校が保護者や地域に開かれ、信頼される学校づくりを進めていくことが必要です。

小学校6年生の学力



(資料：七尾市子ども教育課 平成 19 年度)

中学校3年生の学力



(資料：七尾市子ども教育課 平成 19 年度)



施策の方針

① 発達段階に応じた基礎学力の定着

全国・県の学力調査と併せて市の学力調査を実施し、その結果の分析と対策を講じ、発達段階に応じた学力向上に努めます。また、英語能力の基礎や表現力等のコミュニケーション能力の育成を図ります。

施策の内容	主な取り組み
学力定着度の分析と評価の推進	基礎学力調査の実施
	P D C A ^{*1} サイクルによる評価・改善
発達段階に応じた基礎学力の向上	地域の人材を活かした学習活動の推進
外国語教育の充実	外国語指導主事の配置
	英語指導助手（A L T）の配置
	小学校からの英語教育の推進

② 指導体制の確立

教職員の研修を充実させるとともに、指導方法の工夫・改善を図り、教職員の資質向上に努めます。また、児童生徒一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導体制の整備を図ります。

施策の内容	主な取り組み
教職員研修の推進	学校運営研修会の実施
	教務主任・研究主任合同研修会の実施
指導方法の工夫・改善の促進	学習指導法の研究
	教職員の自己評価・児童生徒による授業評価の実施
個々に応じた指導体制の充実	少人数指導・習熟度別指導の実施
	発展的な学習や補充的な学習の充実

③ 開かれた学校づくりと学校力の向上

授業公開をはじめ、学校だより、学校説明会等により積極的な情報公開を推進します。また、児童生徒・保護者・学校評議員等からの評価を教職員の意識改革、指導力向上に活かし、学校の教育活動の改善を図ります。

施策の内容	主な取り組み
情報公開の推進	授業公開の推進
	学校紹介冊子の作成・配布
	学校説明会の開催
外部評価の推進	学校評議委員の活用
	保護者による学校評価の実施

主な目標値

指標名	指標の説明	現状値	平成25年度	平成30年度
学力調査で市平均が県平均を上回る教科数	基礎学力の定着度を示す指標	4教科 (平成19年度)	半数以上	すべての教科
授業に対する児童生徒の理解度	指導体制の充実度を示す指標	36.5% (平成19年度)	50.0%	70.0%

*1 P D C Aサイクル：計画（Plan）→実行（Do）→評価（Check）→改善（Action）を繰り返し、継続的に改善する手法。

2 生涯学習・スポーツの振興

(1) 生涯学習の推進

現状と課題

① 自主的な生涯学習意欲の高まり

生活スタイルの変化や余暇時間の増大により、市民の学習意欲が高まり、学習ニーズは多様化、高度化しています。七尾市では、生涯学習施設や地区公民館、フォーラム七尾等において、子どもから高齢者まで多岐にわたる各種事業や様々なグループによる自主的な学習活動が展開されています。

このような中、いつでも、どこでも、だれでも自由に学ぶことができるよう、市民の生涯にわたる多様な学習機会の提供や公民館機能の強化など、総合的な生涯学習環境づくりを進めていく必要があります。



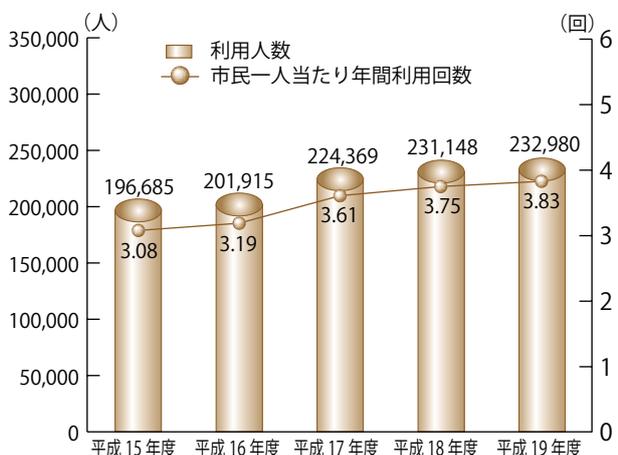
七尾市公民館大会

② 誰もが利用しやすい図書館を目指して

七尾市では、4図書館（中央・本府中・田鶴浜・中島）と移動図書館車において、図書資料の貸し出しを主とした多様なサービスの提供や読書活動の推進を行っています。4図書館では、合併後に図書館システムが一元化されたことによって、蔵書の相互利用が可能となり、幅広い資料の提供ができるようになりました。また、中央図書館が馬出町から七尾駅前再開発ビル「ミナ・クル」へ移転して、利便性が向上しています。

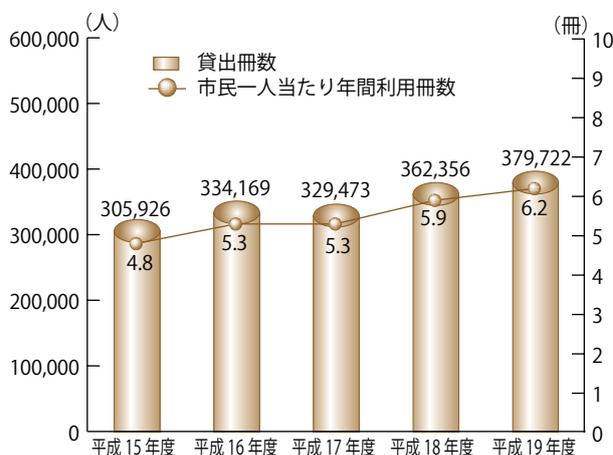
これまで、「文字・活字ばなれ」、「読書ばなれ」が著しい状況でしたが、図書館や学校等での取り組みにより改善されつつあります。今後も継続して子どもの読書活動を推進するとともに、高齢化の進行に伴い、高齢者の図書館利用が相対的に多くなってきているため、高齢者のニーズに対応した図書館づくりを進めていく必要があります。

公民館利用人数



(資料：七尾市生涯学習課)

図書館貸出冊数



(資料：七尾市図書館)



施策の方針

① 生涯学習活動の推進

自主的な学習グループや指導者の育成を図るとともに、地域の特色を活かした自主的な生涯学習活動を推進します。また、市民が気軽に集まり学習できる拠点施設として、公民館やフォーラム七尾等の機能充実を図ります。

施策の内容	主な取り組み
生涯学習機会の創出	市民大学講座・健老大学講座の開催
	生涯学習情報の提供
学習グループ・指導者の育成	自主的な学習グループの育成
	生涯学習を支える指導者の育成
	社会教育団体との連携強化
地域の特色を活かした生涯学習活動の推進	自主的な公民館活動（地域イベント等）の支援
生涯学習施設の整備・充実	公民館・フォーラム七尾等の機能充実
	老朽公民館の改築

② 図書館サービスの充実

各地域の特色ある資料を配置するなど、各図書館において、地域の特性を活かしたサービスの充実を図るとともに、地域における読書ボランティア活動を支援します。また、移動図書館車の運行やレファレンスサービス^{*1}の充実を図り、誰もが利用しやすい図書館づくりに努めます。

施策の内容	主な取り組み
誰もが利用しやすい図書館づくりの推進	図書館資料の情報収集
	図書情報発信機能の強化
	移動図書館車の運行
地域の特性を活かしたサービスの充実	地域の図書資料の配置
子どもの読書活動の推進	ブックスタートの実施
	読書イベントの開催
読書ボランティア活動の支援	図書館友の会等の活動支援

主な目標値

指標名	指標の説明	現状値	平成25年度	平成30年度
市民一人当たり年間公民館利用回数	生涯学習施設の利用度を示す指標	3.8回 (平成19年度)	4.2回	4.5回
市民一人当たり年間利用冊数	図書館の利用度を示す指標	6.2冊 (平成19年度)	7.0冊	8.0冊

^{*1}レファレンスサービス：必要な資料や情報を必要な人に的確に案内すること。

^{*2}ブックスタート：乳児健診時に保護者に絵本をプレゼントするとともに、読み聞かせの重要性を説明し、読み聞かせ体験をすること。

2 生涯学習・スポーツの振興

(2) スポーツの振興

現状と課題

① スポーツへの興味・関心の高まり

余暇時間の増大、体力・健康づくりへの関心の高まりなどを背景に、スポーツ活動に参加する市民が増えています。また、スポーツ種目に対するニーズの多様化もみられることから、いつでも、どこでも、誰でも生涯スポーツができる環境づくりが求められています。

このため、「総合型地域スポーツクラブ^{*1}」の創設が全国的に進められており、七尾市においても、NASPOや田鶴浜スポーツクラブ、なかじまスポーツクラブが設立されています。

今後は、地域住民自らが参画するスポーツ活動や誰もが参加したくなるような事業の展開が求められています。



バスケットボール大会

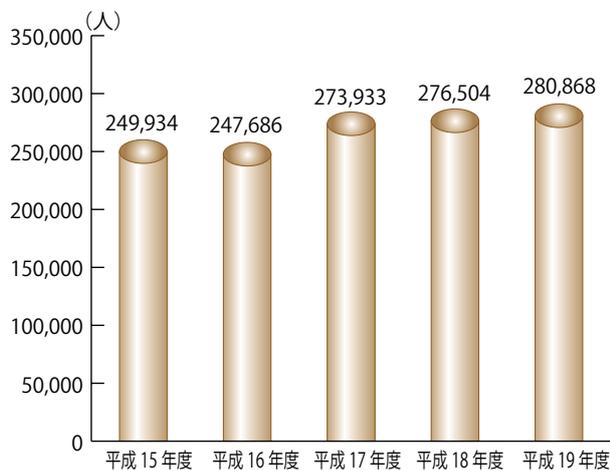
② 競技力の向上にむけて

七尾市では、七尾市体育協会を中心として、競技スポーツの振興が図られてきました。しかしながら、指導者不足により多様な競技スポーツに応じた指導が困難となってきており、スポーツ競技力の向上を図るためにも、競技スポーツの指導者確保や全国・県レベルの競技スポーツ大会の開催が求められています。

③ 豊富なスポーツ施設

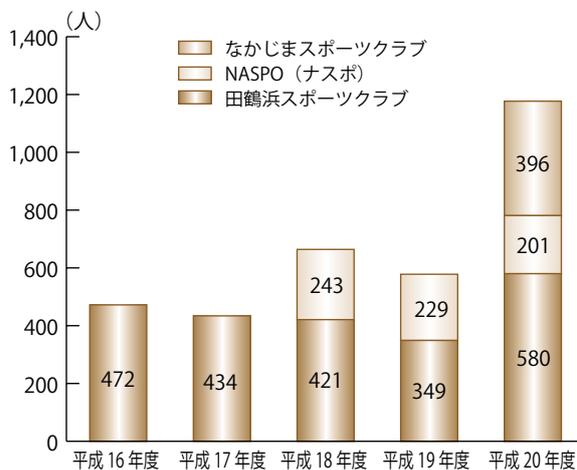
七尾市には、体育館や武道館、野球場等といった体育施設が豊富にあります。このような体育施設の活用と学校体育館の有効利用等により、市民が気軽にスポーツを楽しむことができるような環境整備を進める必要があります。

体育施設利用人数



(資料：七尾市スポーツ振興課)

総合型地域スポーツクラブ会員数



(資料：七尾市スポーツ振興課)



施策の方針

① 生涯スポーツ活動の推進

各地域における総合型地域スポーツクラブの設立支援や体育指導委員の育成を通して、地域主体のスポーツ活動の推進を図ります。また、市民スポーツイベント等の開催により、誰もが気軽にスポーツに参加し、交流を深めることができる機会の創出を図ります。

施策の内容	主な取り組み
地域主体のスポーツ活動の推進	総合型地域スポーツクラブ設立の支援
体育指導委員の育成	体育指導委員の養成
	体育指導委員活動の充実
生涯スポーツ大会やイベントの充実	市民スポーツ・レクリエーション祭の開催
	生涯スポーツ大会の開催
ニュースポーツやアウトドアスポーツの推進	マリンスポーツの普及促進

② 競技スポーツの振興

能登和倉万葉の里マラソン等の競技スポーツ大会の充実や市民のスポーツ意識の向上を図るとともに、スポーツ団体の育成支援に努め、スポーツの競技力向上を目指します。

施策の内容	主な取り組み
各種大会選手派遣・選手強化の支援	各種大会への選手派遣に対する支援
	選手強化に対する支援
◎ 競技スポーツ大会の誘致・開催の推進	能登和倉万葉の里マラソン大会の開催
	全国・県レベルのスポーツ大会の誘致
スポーツリーダー・スポーツ団体の育成支援	各種体育団体の活動支援
	スポーツリーダーバンクの創設

③ スポーツ環境の充実

既存施設の有効活用と適正な管理運営に努め、利便性の向上を図ります。また、市民のニーズに応じたスポーツ施設の機能充実に努めます。

施策の内容	主な取り組み
スポーツ施設の利便性の向上	学校体育施設の利用促進
	既存施設の有効活用
スポーツ施設の機能充実	民間スポーツ施設との連携
	スポーツ施設・用具の整備

主な目標値

指標名	指標の説明	現状値	平成25年度	平成30年度
成人の週1回以上のスポーツ実施率	スポーツの振興を示す指標	23.1% (平成20年度)	40.0%	50.0%

*1 総合型地域スポーツクラブ：誰もが身近な地域で気軽にスポーツを楽しめるよう、地域の人たちが自主的、主体的に運営するスポーツクラブ。

2 生涯学習・スポーツの振興

(3) 国際交流の推進

現状と課題

① 七尾市における姉妹・友好都市交流

七尾市では、ロシアのブラーツク市をはじめ、4カ国5都市と姉妹・友好都市提携をしており、これまでに約330団体、約4,000人以上が姉妹・友好都市交流を行っています。また、1989年から世界で唯一、本場以外で「モンレージャズフェスティバル」のイベントを毎年開催するなど、市民交流を相互に深めています。今後も、姉妹・友好都市との交流活動の継続や交流機会の拡充に努め、市民レベルの交流を促進する必要があります。



ブラーツク市との姉妹都市交流

② 様々な国際交流活動の実施

国際化の進展に伴い、異文化にふれる機会が増えています。学校や国際交流団体においては、外国語教室や料理教室等の交流活動が行われており、ホームステイなど各家庭での交流も活発です。

このように、より多くの市民の自主的な国際交流活動を促進し、国際感覚あふれる人づくりに努めていく必要があります。

③ 在住外国人の相談件数の増加

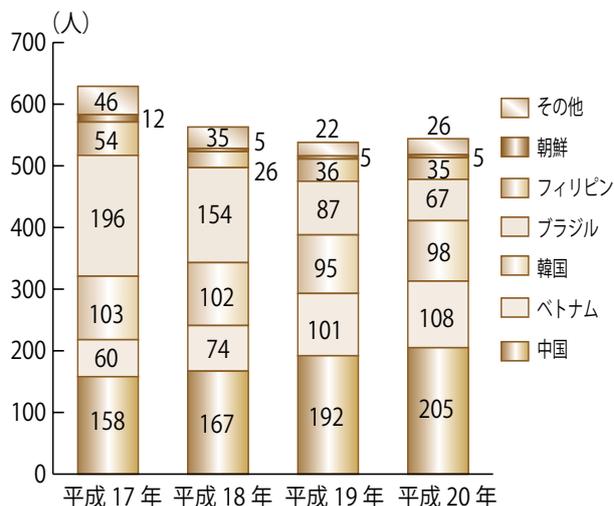
近年、中国をはじめとするアジア諸国出身の外国人が増加傾向にあります。このような中、言語、文化、生活習慣の違いによる問題が多く発生しており、在住外国人の相談件数が増加しています。外国人との共生を図るため、在住外国人に対する相談体制の整備や外国語による情報提供等が求められています。

姉妹都市・友好都市

国名	ロシア	韓国	中国	アメリカ	アメリカ
国旗					
姉妹親善都市名	ブラーツク市	金泉市	大連市金州区	モーガンタウン市	モンレー市
人口	243,900人	140,464人	480,000人	2,500人	29,674人
提携日	S45.12.11	S50.10.16	S61.4.13	H4.8.1	H7.12.5
市からの訪問者数	160人	849人	312人	175人	968人
市からの訪問団体数	22団体	50団体	28団体	14団体	68団体
市への来訪者数	234人	491人	190人	49人	696人
市への来訪団体数	28団体	44団体	22団体	-	52団体

(資料：七尾市男女共同参画課 平成20年3月末現在)

外国人登録者数(国籍別)



(資料：七尾市市民課 各年3月31日現在)



施策の方針

① 姉妹・友好都市交流の推進

行政や市民レベルで、観光や経済、文化、人事、青少年等の交流活動を行うとともに、各種団体の交流支援を行い、姉妹・友好都市交流を推進します。

施策の内容	主な取り組み
行政・市民レベルにおける交流の促進	訪問団の派遣・受け入れ
各種交流事業に対する支援	各種スポーツ・文化団体等の交流事業の支援

② 多様な国際交流の推進

外国語教室や各種交流イベントなど、市民に親しみの持てる様々な国際交流を推進します。また、国際交流団体の育成を図り、国際交流の輪を広げていきます。

施策の内容	主な取り組み
国際交流協会の自立と機能充実	国際交流協会の運営支援
異文化学習の推進	外国語教室の開催
	異文化学習教室の開催
国際交流イベントの充実	各種交流イベントの実施
	ホームステイの受け入れ促進
国際交流団体の育成	国際交流市民団体への支援

③ 多文化共生のまちづくりの推進

通訳者やボランティアの確保、相談体制の充実など、在住外国人に対する支援を充実し、外国人にやさしいまちづくりを推進します。

施策の内容	主な取り組み
通訳者やボランティアの確保	ボランティアや市民活動団体の育成
相談体制の充実	国際交流員による相談支援
	各種団体・他自治体との連携強化
学習機会の提供	日本語教室の開催
外国語による情報発信	外国語による案内看板の設置
	外国語情報誌の作成

主な目標値

指標名	指標の説明	現状値	平成25年度	平成30年度
姉妹・友好都市との交流人口	国際交流の推進を示す指標	149人 (平成19年度)	160人	170人

3 人権尊重・男女共同参画の推進

(1) 人権尊重の推進

現状と課題

① 人権啓発の取り組みと課題

近年、子どもや高齢者、障害者等へのいじめや虐待が全国的に増加し、自殺にいたるケースも発生しています。七尾市では、15名の人権擁護委員が中心となり、人権啓発活動や人権相談・救済を行っています。特に、子どもたちのかけがえない命を守るために、手紙相談「子どもSOSミニレター」等を行うほか、小中学校の児童生徒にやさしい思いやりの心を体得させ、人権思想を育む「人権の樹」や「人権の花」運動を実施しています。また、人権作文や人権標語を募集し、人権思想の普及促進を図っています。

今後も、市民一人ひとりが人権問題に対する正しい理解と認識をより深められるよう、積極的な啓発活動に取り組み、人権意識を高めることが求められています。



街頭人権啓発活動

② 相談内容の多様化・複雑化

悪質商法や多重債務によるトラブルが多様化、複雑化しており、消費者を取り巻く社会環境は大きく変化しています。七尾市においても、高齢者を狙った訪問販売等の悪質商法による被害やインターネット関連のトラブルがあり、相談者が絶えない状況となっています。

こうしたことから、被害に対する迅速かつ適切な対応や事前の被害を防止するために、消費者への適切な情報提供や消費者教育が求められています。また、平成22年3月には中能登消費生活相談室(石川県)が廃止される予定であることから、専門相談員を養成するなど、相談体制の充実を図る必要があります。

各種相談件数

区分	H17	H18	H19	相談員
行政困りごと相談	35	5	10	行政相談委員
市民くらしの相談	32	34	38	人権擁護委員 民生児童委員
法律相談	111	85	82	弁護士
登記相談	48	38	35	司法書士 土地家屋調査士
市民相談	53	64	55	職員
消費相談	60	55	38	職員・専門相談員
合計	339	281	258	

(資料：七尾市秘書広報課)



「人権の花」運動



施策の方針

① 人権尊重社会の実現に向けた啓発活動の推進

法務局や人権擁護委員との連携を強化し、学校や地域における啓発活動を推進するとともに、学習会や講演会、啓発物品の作製・配布等を通して、市民の人権意識の高揚を図ります。

施策の内容	主な取り組み
学校や地域における啓発活動の推進	人権擁護標語の募集
	街頭啓発活動の実施
	人権の花運動の実施
人権学習機会の提供	人権同和問題学習会・講演会の開催
多様な啓発媒体を活用した普及啓発	市広報等による人権擁護啓発
	啓発物品の作製・配布
人権相談の充実	人権擁護委員や弁護士による人権相談

② 市民相談の充実と消費者の安全・安心の確保

消費生活相談員や弁護士、行政相談員等による相談体制の充実を図ります。また、各公民館単位で、消費生活に関する学習会の開催や消費生活改善推進員の育成を図り、消費者の保護と救済に努めます。

施策の内容	主な取り組み
各種相談体制の充実	弁護士による法律相談の実施
	消費者生活相談の充実
	消費専門相談員の養成
消費者教育の推進	消費生活講座の開催
	悪質商法などの情報提供の充実
	地域別学習会の開催
消費者団体の活動支援	消費生活研究グループの支援
	消費生活改善推進員の研修

主な目標値

指標名	指標の説明	現状値	平成25年度	平成30年度
人権が尊重されているまちづくりが進んでいると思う市民の割合	人権に関する市民意識を示す指標	23.4% (平成20年度)	26.0%	28.0%

3 人権尊重・男女共同参画の推進

(2) 男女共同参画の推進

現状と課題

① 根強い固定的な性別役割分担の意識

男女共同参画意識が市民に浸透しつつありますが、「男は仕事、女は家庭」というような男女の固定的な役割分担意識がまだ根強く残っています。

このような固定的な性別役割分担意識を解消するために、男女共同参画の視点に立った意識改革や制度・慣行の見直しを行うとともに、次代を担う子どもたちへの男女平等教育を進めていく必要があります。



② 家庭や職場の低い男女共同参画意識

家庭において、男性が家事に参加する割合が低く、雇用の場においても、男女間の格差はまだ解消されていないのが現状です。また、審議会などの政策や方針決定に参画する女性の割合が低いという現状もあります。

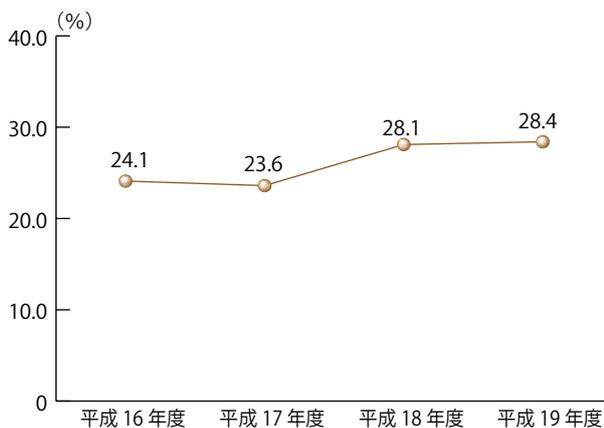
このことから、男女共同参画意識を一層普及するなどして、家庭や職場、地域において男女が共同参画していくための基盤づくりに取り組む必要があります。

③ 配偶者等に対するあらゆる暴力の根絶

配偶者やパートナーからの暴力（DV^{*1}）の被害者は女性が多く、相談窓口の設置等によって被害が表面化してきています。また、女性からの相談はDVだけでなく、子育て、雇用など多岐にわたっています。

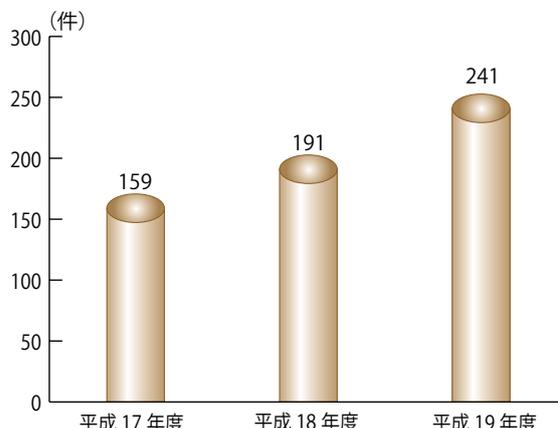
これらに対処するためには、関係機関と連携しながらDV被害者への支援やDV防止について啓発をしていくとともに、被害者に対する相談支援を充実する必要があります。

審議会等への女性登用率



(資料：七尾市男女共同参画課)

女性なんでも相談件数



(資料：七尾市男女共同参画課)



施策の方針

① 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進

市民や各種団体等と連携し、広報・啓発活動を展開します。また、男女共同参画に関する教育・学習の推進に努めるとともに、地域における男女共同参画推進員の啓発活動を支援します。

施策の内容	主な取り組み
多様な広報・啓発活動の推進	講演会・講座の開催
	広報誌による啓発
男女平等教育の推進	学校における男女平等教育の推進
	保育園・幼稚園における意識啓発
男女共同参画のネットワークづくり	町会、各種団体、企業等のネットワーク化
男女共同参画推進員による啓発活動の推進	男女共同参画推進員の活動支援
	情報誌の発行
	男女共同参画推進員研修会の開催

② 家庭・職場・地域における男女共同参画の推進

家庭や職場における男女の人権尊重意識づくりに努め、家庭と仕事が両立できる就業環境づくりを促進します。また、地域における男女共同参画の意識づくりに努めるとともに、政策・方針決定の場への女性の参画を促進します。

施策の内容	主な取り組み
家庭での男女共同参画の促進	男性の料理教室の開催
	父親の保育参観促進
ワーク・ライフ・バランス ^{*2} の推進	育児・介護休業制度の普及啓発
	企業に対する講演会の開催
地域活動における男女共同参画の推進	地域への理解啓発
政策・方針決定の場への女性参画の促進	審議会などへの女性参画の推進

③ 配偶者等に対する暴力を根絶するための基盤づくりの推進

民生児童委員や人権擁護委員、警察等の関係機関との連携を強化し、DV防止の啓発活動を充実するとともに、被害者の支援や相談体制の充実を図ります。

施策の内容	主な取り組み
女性に対する暴力についての意識啓発	ポスターやパンフレットによる啓発
女性相談体制の充実	女性なんでも相談の実施
	各種相談窓口の連携強化
セクシャル・ハラスメント ^{*3} 防止対策の推進	パンフレットによる啓発

主な目標値

指標名	指標の説明	現状値	平成25年度	平成30年度
男女共同参画が進んでいると思う市民の割合	男女共同参画に関する市民意識を示す指標	27.8% (平成20年度)	31.0%	33.0%

*1 DV：ドメスティックバイオレンスの略で、配偶者やパートナーなど親密な関係にある人、または親密な関係にあった人からの暴力。

*2 ワーク・ライフ・バランス：仕事と生活の調和。

*3 セクシャル・ハラスメント：人に不快感を与える性的な言動（性的いやがらせ）。

